

新しい生活様式でのスタートカリキュラムの実践

①環境構成

教室の後方ドアを開放し、オープンな環境設定



換気 児童理解・支援 共通理解

②ICT機器の活用

よみきかせ・共有場面



密集を防ぐ 視覚的支援

新しい生活様式でのスタートカリキュラムの実践

③没頭する時間

なかよしタイム(つるみっこ広場)



活動での密集を防ぐ

ゆったりとした時間設定

自分でやりたいことを決める

没頭

どの子ども安心して思いを実現するための取組

子ども⇔子ども 子ども⇔学校

安心感を生む環境とつながりづくり

4月当初は、6年生が朝の支度や掃除の手伝いなど、声をかけながら一緒に活動をしてくれます。スタートカリキュラムを経験して大きく成長した6年生。すべてやってあげるのではなく、1年生に寄り添いどうしたら1年生のためになるかを考えて接してくれています。

身近で優しい6年生の見守られながら安心していろいろなことにチャレンジすることができました。プレゼント交換をしたり一緒に遊んだりもしました。6年生とは、1年間「なかよし活動」を通して継続的に関わり、仲を深めています。安心して思いを実現することにつながりました。

資質・能力を連続して育み、学びの環境を整えていくことが、学年が進んでも力を発揮し続けることの実現につながっていきます。

やさしい6年生が大好き。



なかよし
かつどう

一体感

みんなで遊ぶと楽しいね。



どの子ども安心して思いを実現するための取組

園と小学校のつながり、交流

6年生がしてくれたみたいに、年長さんにもなにかしてあげたいな。

6年生がメダルをくれてうれしかったよ。

今年は、学校に来たことがないから心配な気持ちでいっぱいかも。



小学校のことを教えてあげたいね。

小学校の楽しさを伝えるためにメダルのプレゼントはどうか。

自分たちにはできないかと園の子たちの気持ちを考えながら、話し合いが始まりました。

どの子ども安心して思いを実現するための取組

園と小学校のつながり、交流

安心感を生む環境とつながりづくり

園⇄小学校

新しい日常の生活様式での実践
どんな交流ができるか

新1年生学校説明会で、メダルをプレゼントしました。
鶴見小学校のキャラクターのみらいちゃんつきのオリジナルメダルを考えて完成しました。

鶴見小学校のことを知らせるために、みらいちゃんをのせよう。



メダルをつけてくれた子を見たよ。喜んでくれたみたいで嬉しいね。

お手紙・プレゼント
交換

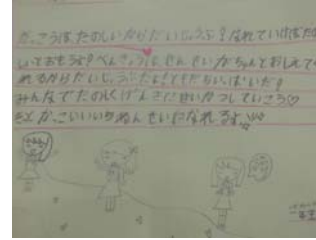
作品交流

どの子ども安心して思いを実現するための取組

園と小学校のつながり、交流

小学校のことを園の子に教えてあげたいという思いをもちました。
今年度は、コロナの影響もあり直接会って交流することはできませんでしたが、作品や手紙などを通して自分たちの気持ちを伝えたり、学校の様子を伝えたりすることができました。

作品交流



よろこんでくれるかな。

今年度の振り返り

成果

- ・新しい生活様式でのスタートカリキュラムの実践や子ども同士の交流などできることを考えて活動を行うことができた。

課題

- ・園や小学校での子どもたちの様子を実際に見ることができなかった。
- ・新しい生活様式で可能なこと（継続すべきことや改善点等）を改めて考えていく必要がある。